



こんにちは

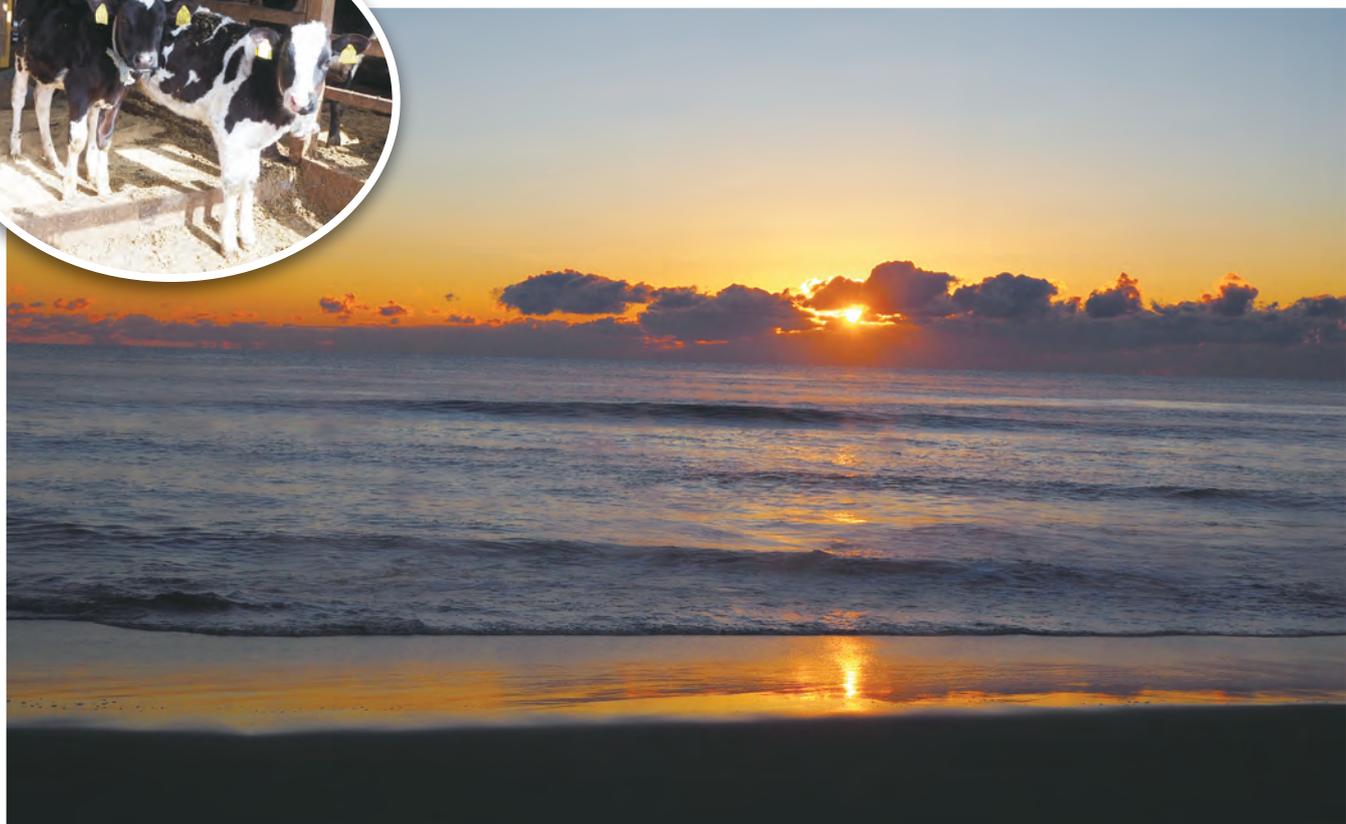
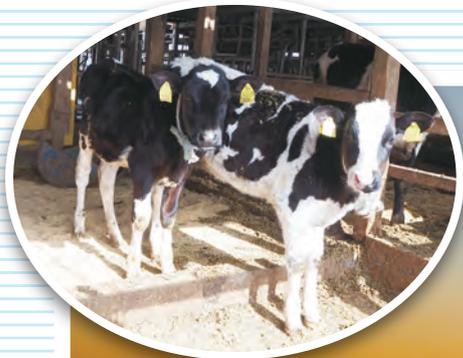
白子の議会

です

第139号

令和3年2月18日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 古所海岸より望む初日の出・令和3年(丑年)1月1日撮影

第4回 定 例 会

令和2年第4回定例会が12月10日と17日に開催されました。
一般質問は、8名の議員が町政をただしました。

- 8議員が一般質問・補正予算等の質疑応答……2～9ページ
- こんなことが決まりました……………10ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月2日～16日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

政治姿勢について

大多和 正之 議員

議員 2020年明けから猛威を振るったコロナウイルスの影響で、主要産業の観光業では来客数の激減、農業においても、昨年の台風被害に加え飲食業界の需要の減少、教育関連では年間を通して、教育環境が制限されています。

コロナ収束後の観光、農業、教育等の課題が山積している状況で来春には町長の任期を迎えますが、今後も共に町づくりを行いたいと思うが、考えを伺います。

議会と歩調を合わせ

町長 私の政治姿勢についてですが、アフターコロナとしてどのように町政を進めていくかということでございますが、今年一年はコロナに翻弄され行政も足踏み状態が続いた年でありました。

観光、農業、商業の経済分野の不振、教育分野では学校行事の中止、自粛でかわいそうな思いをさせています。

町づくりは当然首長が一人でするものではありません。今までもそうでしたが、議会と歩調を合わせ、職員と力を合わせなければならぬと思います。

白子町政通信について

議員 白子町の未来を憂う一住民より白子町政通信が新聞に折り込まれました。私も林町政7年目より町づくりに参加し、議決してきた責任として、白子町政通信の内容について伺います。

①白子町の起債が22億から44億に増えた原因、
②町民の声というものが

存在していたか、③失われたコンプライアンスとして、公共工事の執行方法、固定資産税の課税方法、職員との雇用関係などを町民が心配して悩むことのないように答弁願います。

事実ではない中傷文書

町長 白子町政通信ですが、私に対しての事実ではない中傷文書が、町内にまかれています。

まず地方債残高が増えたことですが、地方債残高の約50%を占める臨時財政対策債は、財政収支の不足額を補てんするため、地方公共団体が特例として発行する地方債で、その元利償還金相当額については、全額を後年度以降の地方交付税に算入され、財政運営に支障が生ずることのないよう措置されているものです。

また、町の財政は健全財政を保ち各種基金の合計残高も17億円を有して

おります。

次に町民の声というものはもともと存在しておらず、知事への手紙というものがありませんが、町への要望意見はインターネット、手紙でいつでも受付けており、差出人には回答しています。

コンプライアンスの欠如ということでありませうけれども、公共工事の積算は、職員、設計業者が行い、何ら問題はないものです。

働く職員に関してありますが、職員は労働者であるとともに憲法第15条、地方公務員法第30条に規定されているとおり、全体の奉仕者であるということ、事実であり、町民目線で常に対応しています。

特殊業種への課税除外ということがあります。が、課税に関しては公平公正を期しており、私が意図的に例えば、農業者を優遇していることはありません。

コロナ禍での令和3年度

予算編成及び重点施策は

大多和 秀一 議員

議員 新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生活様式の変化に伴う経済への影響は計り知れないものとなっています。

本町の基幹産業への打撃も大きく、税収の落ち込みが予測されますが、令和3年度の予算編成の方針及び重点施策について伺います。

教育・経済・子育て支援・財政基盤強化の4本柱で

町長 税収として町民税、固定資産税、入湯税などで6千万円余り。国保税で2千万円余りの減収が見込まれているところで、継続すべきは継続し、見直すべきは大胆に見直すという基本的な考え方で進めていきます。

GIGAスクール構想の確実な推進と教育の充実、窮地にある観光業の支援と、人・農地プラン

の具体化など、経済の正常化・活性化。そしてコロナ対策に万全を期すと共に、健康づくりと保育所の完全給食化などの子育て支援、また一般財源収入の落ち込みを見据えて持続可能な財政基盤づくり、この4本柱で予算編成を進めているところです。

町長選への出馬の意向は

議員 地方自治は二元代表制の下、執行側、議会がそれぞれの役割を果たしながら運営がなされています。特に執行する首長の思いは行政に反映され、その自治体の色、姿として表れ評価の判断にもなります。

予算編成を進める中で、令和3年6月に町長としての任期満了を迎えるわけですが、今の考えを伺います。

後援会の中で検討

町長 私の進退については考え中です。

議会と共に長くまちづくりに関わらせていただきました。退くことも考えていたところですが、私に対する中傷的な文書がだされており、引いてしまえば嘘を認めることになり、正しいことをしっかり伝えなければならぬと思ひ葛藤しているところですが、後援会組織の中で検討し、決意したいと思えます。

批判的な文書への見解は

議員 林町長は7期28年行政のトップとして本職を担っています。この間の取組みに関して、所感の文書が個人紙として発刊されているようです。

この中で特に予算を伴う事業は、当然議会の議決を経て執行されたものであり、捉え方によっては議会への問責というふうな受け取り方もできます。これらの内容について

の見解を伺います。

捉え方は個々の差異 言論の自由とはいえず 遺憾に思う

町長 これまでの行政と議会が連携を図りながら、職員と共に、町民の皆さんと一体となって、白子らしさの溢れるまちづくりを進めてきたつもりです。批判をする文書が町内にまかれており、個々の捉え方の差異があるとはいえ、余りにも事実と異なる内容に対し、遺憾に思っています。

〈職員パワーハラズメントについて〉

職員に対しては公平を期し、思いやりを持って接してきたつもりです。パワーハラあるいは報復人事、また組合潰しなどは事実無根であり、大変遺憾に思っています。

〈無駄な公共事業と書かれたものに関して〉

白子中学校の屋根付きプールは、雨天でも使用することが可能で、一般

の方の利用も視野に入れた要望から設置されたものであり、現在その趣旨に沿った利用がされています。

浜宿・剃金間の町道1041号の整備については、小学校の通学路であり、安全対策への保護者からの要望と併せて、両総用水路の改修も行ったものです。ウォーキングロードとしても需要が高く、多くの人が利用しています。

南日当橋については、南白亀川に架かる町内10橋の中で唯一耐震不足であり、老朽化も激しく危険橋であることから改修したものです。東日本大震災の復興予算の中から実施されたものです。

〈議員への魔女裁判〉

白子町飲食店舗おもてなし整備事業補助金50万円の使途について、町民から調査依頼があり、依頼人と介在した議員双方から事情を聞いたもので、当然の責務だと思います。

幼児教育の導入について

宗島 理仁 議員

議員 幼稚園と保育所はその目的及び役割を異にしており、それぞれの社会的ニーズに応じてきましたが、近年の社会構造等の著しい変化を背景として、就学前の子供に関する教育、保育のニーズは多様化しています。

幼稚園及び保育所等における小学校就学前の子供に対する教育及び保育の充実を図るためにも、認定こども園を設置すべきです。

認定こども園のメリットとしては、現在の白子町の充実した保育の体制を維持しつつ、幼児教育に積極的ということが挙げられます。3歳から5歳までの児童を対象に、1日4時間の教育時間というものが設定されており、いわゆる習字や水泳などの習い事に当たる教育をその時間で行います。

保育料が無償化になりこのような保育ニーズの高まりを受け止めていくべきかと思いますが、見解を伺います。

検討課題としていく

町長 こども園について、普及してきてること実は事実でありますので、検討課題とさせていただきますかと思っております。

保育の充実については、平成28年度より各園において、4・5歳児を対象としてソフトテニス教室を実施しております。これは、子供たちには評判が良く楽しみに待たれてくれているようでもあります。

チューリップの球根植えや写生会、あるいはスマイルクラブとの交流会を通じ、地域との関わりを深める取り組みを推進しています。

保育所と小学校の連携について

議員 保育所と小学校連携については、遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の教育課程と、各教科等の学習内容を系統的に学ぶ児童期の教育課程は、内容や進め方が大きく異なり、その連携は決して容易ではないと思っております。

我が町においては、就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習に適應できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされるようなつながりをどのように行っているのか、伺います。

話し合いを持ちながら

教育長 保育所の先生方に必ず入ってもらい、支援の必要な子供たちがどうあるべきか、子供たちが1年生に上がるときにきちんとして上がれるか、必要な対策をどのよ

うにとるべきかを常に話し合いを持ちながら、やっています。

保育機能の集約について

議員 今後、厳しい行財政状況で、効率的かつ効果的な運営を目指し、保育水準を低下させずに経費削減に努めなければなりません。

このような状況で考えるべきことは、保育機能の集約です。

国が定める保育士の配置基準では、1歳児及び2歳児は保育士1人に対し子供6人まで保育できるという条件があります。

令和元年度が白子町全体で出生数が34人であり、仮に全員が保育所に2歳児から入園した場合、1か所であれば6人の保育士で保育が可能ですが、地区別に分かれた3保育所で入所する場合は7人の保育士が必要になります。保育士の削減を単に言

うのではなく、今ある人材をより有効に活用するために、そして、効果的かつ効果的な運営を目指し、保育水準を低下させずに経費削減に努めるためにも、現状の出生数、令和2年度の出生者の予想を鑑み、保育機能の集約を検討すべきかと思いますが、見解を伺います。

合理性だけではない

町長 保護者のニーズ等も取り入れるべきであり、合理性だけで集約を考えるべきではないと思っております。

保護者も園児もこれを本当に求めているかということになると、もう少し調査が必要であり、子育て支援の在り方も検討課題かと思っております。



ボランティア出勤が

今年も行われた

石井 和芳 議員

議員 千葉県公平委員会から否認されたボランティア出勤で2年分の手当を遡って払うことになったのに、なぜ本年の防災訓練もボランティア出勤させたのか伺います。

町長 今までは、明確にボランティアとしての参加が職員に周知されていなかったから、公平委員会からは正措置が出たものと解釈している。

防災訓練は、本来業務であるはず

議員 災害対策基本法に基づき、白子町地域防災計画が策定されている。この中に防災訓練は、明確に白子町の業務となっている。

この本来的業務をいかなる理由によってボランティアで対応できるのか

伺います。

町長 職員がボランティアで参加する訓練は、町民への奉仕者という公務員精神で参加してくれているものと思っています。

ボランティア出勤での事故が、公務災害扱いになるか

議員 職員が防災訓練にボランティアで参加した場合、通勤途上、あるいは訓練中の事故等に対し、公務災害適用は無理だと思われま。

仮に保険で対応しても、補償内容は公務災害に比べ相当劣るはず。このような職員の不利益に対し、如何に対応するか伺います。



町長 職員がボランティアで参加した場合でも保険に入っていますので、問題ありません。訓練中のみならず、通勤途上も適用されます。

議員 公平委員会で、はつきりノーだと決まったものを、再度やったことは、違法行為だと思えます。

職員に対しては、払うべきものは払い、仕事として従事させ、災害リスクの負担をできるだけ軽減してやるべきと思います。

少子化の進む中、学校再編計画は如何に

議員 長南町、睦沢町においては小学校の統合が完了し、茂原市においても緑が丘小学校と二宮小学校が統合します。また本納地区においては、新治小、本納小、豊岡小が統合します。

① 国、県の統合基準は、複式学級が発生してい

る場合(複数学年で1クラスを編成する。)
② 学年内でクラス替えができない場合であり、白子町内3小学校とも②に当てはまります。

このような学校の統合基準に合致しているのに、なぜ議論の俎上にも載っていないのか伺います。

3小学校の設備に多額の投資をして、充実してきた

町長 これまで、校舎の耐震化、教室の冷暖房化、洋式トイレの温水便座化等を実施して来ました。小学校の統合に関しては、まず統合ありきではなく、メリット、デメリットを常に研究しています。

学校再編基本計画を実施するには、最低5年以上かかる

議員 茂原市においては1次計画に4年、2次計画で5年をかけ、合計9年をかけて現在進めてい

ます。学校再編審議会を作り、有識者を入れた委員による答申が出るまでに1年くらいかかっています。

白子町においては、複式学級を前提に統合を考えているようですが、進捗を伺います。



茂原市には茂原市の白子町には白子町の進め方がある

町長 市と町村では課題等の違いがあり、白子の教育に対し、独自の判断で自信を持って進めるところであります。

児童数、子供の減少は目に見えて分かるもの

議員 数年後には白子町でも統合せざるを得なくなり。早めに審議会を作り検討を始めるべき時が来ていると思います。

償却資産の固定資産税について

東海林 東治 議員

議員 固定資産税は、市町村財政に於ける基幹税目として重要な役割を果たしております。

課税情報の公開の不備を背景に、固定資産税制度や不平等な徴収に対して正規納税者は、疑問を抱いております。

補助金交付を受け、活用している償却資産は、課税庁である市当局が、把握済みなはずで、

その所有者、種類、取得価格、時期、見積価格、補助交付金額等々全てに渡り確認しながら、未納税の義務者へ課税台帳に登録をする旨を通告、催告、勧告してない現状をどのように是正を図るか伺います。

自主申告を促す

町長 補助金交付金額は、農業関係が、21件、金額が1千6百96万円

で、中小企業振興利子補給が49件、1千2百31万円、おもてなし整備事業が13件、5百62万円、太陽光発電システム設置補助金が24件、4百86万円、本年11月30日時点で4百60件あり、150件余りが償却資産の申告を行なっていない状況で、今後、自主申告を促していきます。

地方税法違反に当る

議員 各業種別に見ると農業関係の実質補助金受給者は21件で、その中で登録されている方が、3件、残りの18件の方は、未登録で課税対象外の扱いにしている事は、納税の不公平であり、当局の地方税法違反に当たります。如何な事でしょうか。

数年前に他の市町村より白子町の納税状況の問合せがあり、(是正するべ

きところ) 今までどおりとの回答と聞きました。

先程の町長の行政報告では公平な形の取り組みを行うと表明したものの、具体的には是正方針が示されておられません。

補助金交付をし、それを把握していないが、改善策を講じていないことは、意図的に調査や課税をしていないことと判断できると思います。明確なる答弁を伺います。

各市町村それぞれ

町長 各市町村それぞれの形でやっておりますので、あくまで、自主申告であり、申告を促すというのを今後進めていきます。



町税の損失の責任は

議員 農業関係の3件の方は確定申告をし、償却資産の固定資産税の納税者です。しかしこの実態を知らば、不公平感が募り、申告をしない方が得という意識になります。

故に不公平感を払拭するため、再調査し把握するべきです。時効完成は5年間で、町税収に損失を与えてきた責任、そして損失を被った町住民に対する責任は、誰にあるのか見解を伺います。

公平徴収が原則

町長 税は、全ての業種等々に公平に徴収することとが原則であり、納税は、国民の義務であり、もし納税を逃れる事が発生することは残念であります。それは、私共の責任と申します。

不公平が無いよう努めてまいりますのでご理解を頂きたいと思っております。

学校における働き改革について

議員 ①教師の役割分担の適正化と、保護者、地域社会との情報共有の取り組み方、②教職員在籍時間の適正な把握と管理システムに関する状況、③ICT活用サポーター人材の支援員配置について伺います。

学校運営の円滑化

教育長 運営を円滑に進めるため、教職員の個性や能力を最大限に生かせるように、適材適所に業務の負担が無いよう校務分掌の割り振りをしていきます。

また、必要に応じて学校評議員、地区青少年育成会、自治会を通じて人材を確保し、活用に努めております。

ICT活用サポーター人材支援の配置は、各月2回、1回は半日ICT支援員を配置しております。

移住定住推進事業について

北田 百人 議員

議員 町有地の土地整備について、町では生活、働くを推進するためのリビングシフト環境整備事業を実施しており、旧関

保育所の跡地は8月の臨時議会で補正を組み承認されましたが、その後4ヶ月を経過した現在も未だ整備がされておられません。

今後の作業の見通し及び整備完了日がいつなのか、町の見解を伺います。

5区画整理

町長 旧関保育所跡地は、国の補助金を活用して若者向けの分譲地として5区画の造成、整備を行う予定であり、近々に入札を実施して造成いたします。

総務課長 リビングシフト環境整備事業については、令和2年12月23日に

入札を行い、令和3年3月25日を工期に事業を完成する見込みとなっております。

お試し居住体験事業について

議員 町の魅力を体験できるお試し居住体験事業について、現時点の申込数と利用状況について伺います。

総務課長 平成31年4月から令和2年4月までの利用組数は13組、利用人数は28名、利用日数は延べ83日でした。

空き家対策について

議員 前回調査を実施したところ、再利用可能な物件は269件とのことでした。

これまでの調査の中で、空き家バンクでマッ

チングするための方法を構築したと思います。が、登録件数や賃貸件数の推移について伺います。

増加傾向にある

町長 平成30年から空き家バンクを開始しましたが、コロナ渦の中での生活様式の変化から、田舎で暮らしたいニーズ、テレワーク、ワーケーションで空き家を活用したいというニーズが増加しています。

今後は、地域おこし協力隊制度等を活用し、空き家の利活用について、これまで以上に推進していきたいと考えています。

総務課長 空き家バンクの登録件数は令和2年11月末時点で33件の物件登録があり、うち19件が成約に至っています。利用希望者は現在66名となっています。

小動物、中・大型動物の捕獲について

議員 小動物及び中・大型動物の捕獲の取り組み、及び捕獲実績について伺います。

箱わなの貸し出し

町長 県から箱わなを預かっており、1ヶ月を目途に希望する町民に貸し出しを行っております。捕獲した動物は町が処分しています。

環境課長

小動物、中・大型動物の捕獲実績として、令和2年11月末でアライグマ102頭、ハクビシン8頭、タヌキ35頭を捕獲しており、前年度より39頭の増となっております。

猟友会の減少について

議員 現在の猟友会のメンバーは、比較的高齢の方が多く占めています。一方で有害鳥獣数は

増えています。前回の答弁では安易にメンバーは増やせないということでしたが、それならば近隣市町村の猟友会と協力し合い、活動範囲を広げて実施していけば、効果的な活動ができると思います。

このまま対策せずにメンバーが減少し続け、仮に猟友会が解散となった場合、有害駆除についてどのような対策を行う方針か、現時点の町の考えを伺います。

前向きに検討

町長 大変良い提案かと思っておりますので、今後実現可能かを検討したいと思っております。

また、現時点では猟友会の解散の想定はしていませんが、会員を増やすことは難しく、近隣町村のメンバーと一緒に活動することは有効かと思っておりますので、提案内容も含めて、今後検討・対策を取っていききたいと思います。

移動支援事業の経過と内容は

市川 隆子 議員

議員 町の高齢化率は40%ですが、高齢者は、外出して人と話したりすることで健康が増進し、社会参加して元気になります。そのためには、外出できる機会が保障されることが必要であり、公共交通が普及し、気軽に外出できることが、福祉や健康とも密接に関係しているという調査結果もあります。

町では、移動支援事業のワーキンググループを立ち上げましたが、経過と内容について伺います。

移動支援環境の整備は大きなテーマ

町長 高齢者が年々増加している中、移動支援環境の整備は大きなテーマであると認識しています。

移動支援は小湊鐵道、白子タクシー、町社協、商工会、役場関係部局で

ワーキンググループを結成し、たくさんある課題の洗い出しからスタートしたところですが、今後、他自治体の調査や有識者の意見も聞き、直営か民間委託なども検討します。

利用者の声をどのように生かすか

議員 私は、長野県木曾町へ公共交通システムの視察に行ってきました。

木曾では住民の切実な願いと、病人が病院に行けない状況は、農山村を捨てることという町長の強い意志と、徹底した住民参加のもと、多くの調査、議論を積み重ね運行に至りました。

今後、議論が進む中で、利用者の声をどのように生かすのか伺います。

しっかりと聞いて支援策に生かしたい

町長 利用者の意見は当然参考にしなければならず、しっかりと聞いて、支援策に生かしたいと思っています。

学校給食センターの運営状況と運営方針は

議員 旧共同調理場は建物の老朽化が進み、修理しながら使用し、調理場も狭く衛生面からも問題がありました。

新センター建設については、運営委員会等でも議論し、視察をし建設に至りました。

子どもたちにとって食は重要です。運営状況と今後の運営方針について伺います。

食育を進める

町長 議会でも十分議論をし、多くの意見ができましたが、それらを集約し平成26年に建替えました。

衛生面でも、ウェットからドライへ、アレルギー対応も可能になり、安全な給食が子どもたちに提供されるようになり、大変好評を得ております。

また、地元産の材料を多く使っており、食育、生産の苦勞、調理する人への思いやりなどが学べるようになっております。

正規職員採用を

議員 学校給食の調理は、安全性に対する責任と調理の専門性、教育的業務が求められる職種です。

町では、元職員だった調理員さんが3月で退職するということですが、後任には正規職員を採用すべきだと思いますが、見解を伺います。

フルタイムの会計年度任用職員を雇用する

教育長 町としてはフルタイムで働ける会計年度任用職員の調理員を雇用する予定です。

白濁小大規模改修工事の進捗状況は

議員 白濁小学校の体育館等の大規模改修工事が進められています。

体育館を利用する人からも、雨漏りが指摘されてきました。

町内の学校では、白濁小が最後になりましたが、進捗状況と子どもたちの安全確保について伺います。

予定どおり完了する見込み

町長 特別教室は今月中に、体育館は1月中旬に予定どおり完了する見込みで、子どもたちや地域の皆さんにも喜んでもらえるかと確信しています。

教育長 児童等の安全を最優先とした結果、事故はありませんでした。

体育館が使用できないなかで、授業の影響もありましたが、天気の際は芝生の校庭で授業を行うなどの対応をしました。

一般家庭のLED照明器具 更新への補助金制度新設について

大多和 正夫 議員

新年度から導入する方向で検討

議員 LEDは従来の照明に比べて多くのメリットを持ち、消費電力は白熱電球の20%、蛍光灯の40%と言われ、寿命は白熱電球の30倍、蛍光灯の5倍も長寿命であり、昨今では従来の照明器具との価格差は小さくなっています。

特にLED照明器具は、コンパクトで光源が樹脂カバーに覆われているため、ガラスの破損による事故を防ぐこともできます。

菅総理大臣は、所信表明で2050年度までに温室効果ガス排出をゼロにする」と表明しました。導入と同時に環境に優しく省エネであるLED照明器具への一般家庭での更新について、令和3年度より新たな事業として、10年間程度の期間を設定し、更新費用の一部を補助する制度について、どのように考えているか伺います。

町長 LEDの照明は環境に優しく省エネであり普及も進んでいます。

町では、防犯灯のLED化をいち早く行い、商店街の街路灯のLED化にも補助金を交付して更新しました。また庁舎を含めて公共施設のほとんどもLED化がほぼ終わっています。

リフォームに伴う照明器具の新設、取替えは支援していますが、単なる照明器具の購入・取替えは現在対象外となっています。

町としても、環境保全活動は必要かつ重要なテーマであると認識しており、現状把握に努めながら他町村の例なども参考にし、新年度から導入方向で検討します。

補正予算等に対する 質疑応答

白子町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例の制定について
議案第1号

【市川隆子 議員】

議員 個人事業主、給与所得者、公的年金支給者との差をなくすためとのことですが、今回の改正での影響額を伺います。

税務課長 7割軽減は、現行647世帯が710世帯に、税額は、3百29万6千3百円の減少となります。
5割軽減は、現行329世帯が352世帯に、税額は91万9千円になります。
2割軽減は、現行247世帯が235世帯に、税額は、14万9千4百円の増となります。
影響額合計は、4百6万5千9百円です。

補正予算等に対する 質疑応答

白子町議会議員及び白子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
議案第6号

【市川隆子 議員】

議員 国の公職選挙法改正による条例制定ですが、予算は町負担か、また、来年の町長選ではどのくらいの予算になるのか伺います。

総務課長 費用は一切町の負担になります。
町長選につきましては、670万円程度を予定しています。

令和2年度白子町一般会計第5回歳入歳出補正予算について
議案第7号

【宗島理仁 議員】
議員 新型コロナウイルス

ルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されている中で、日本感染症学会の提言で妊婦にもインフルエンザの接種が強く推奨されています。

そのためにも、妊婦健診の際に、市町村で交付される受診票にインフルエンザの予防接種の費用の助成を追加すべきかと思えます。

妊娠中にインフルエンザの予防接種をするのは、妊娠時期にもよりますので一部の妊婦に限られますし、医師の判断で接種するか決められると思いますが見解を伺います。

健康福祉課長 妊婦健診の受診票の追加について、7市町村で行っていますので、課題とし、検討していきたいと思えます。





請願書

【請願第3号】

建設従事者のアスベスト問題の早期救済・解決を求める意見書採択に関する請願書

請願者 千葉県茂原市建築組合
連合会

会長 山口 久雄
外3名

(採択)

発議案

【発議案第1号】

建設従事者のアスベスト問題の早期救済・解決を求める意見書

提出者 北田 百人
賛成者 今井 滋則

認定

(全会一致で可決)

大多和秀一
齋藤 鉄也
大多和正之
齊藤 豊彦
東海林東治
大多和正夫

【認定第1号】

令和元年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

■一般会計決算額は、歳入総額51億6千3百53万6千円、歳出総額49億1千4百26万9千円となりました。

(認定)

【認定第2号】

令和元年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

■国民健康保険事業特別会計決算額は、歳入総額15億3千5百7万9千円、歳出総額14億3千8百78万8千円となりました。

(認定)

【認定第3号】

令和元年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出決算認定について

■後期高齢者事業特別会計決算額は、歳入総額1億4千7百59万8千円、歳出総額1億4千4百96万2千円となりました。

(認定)

【認定第4号】

令和元年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

■介護保険事業特別会計決算額は、歳入総額14億2千58万8千円、歳出総額13億2千1百29万2千円となりました。

(認定)

【認定第5号】

令和元年度白子町休養施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

■休養施設事業特別会計決算額は、歳入総額5

百46万6千円、歳出総額5百28万5千円となりました。

(認定)

【認定第6号】

令和元年度白子町ガス事業特別会計歳入歳出決算認定について

■ガス事業特別会計決算額は、収益2億6千2百61万4千円、費用2億6千3百45万9千円となりました。

(認定)

詳細は広報しらかこ1月号をご覧ください。

編集後記

2021年1月1日早朝、初日の出を見ようと古所海岸を訪れた。

思えば昨年は、変化の年だった。「新しい生活様式」が提唱され、これまでの生き方、暮らし方を見直すという観点も問われてきた。その中で私たち議員も活動が制限されながらの一年だった。

国難とも思われる状況で、様々な声を耳にする。しかしながら、意見には真摯に耳を傾け、非難には毅然とした態度をとり、一丸となって町政を進めていかなければならない。

「人との距離」と言われているが、住民一人一人の声を町政に届けることこそ、私たちの使命であるという原点を考えさせられた一年でもあった。

雲の上からのぞかせたオレンジ色の太陽は、力強く、冷たい空気を徐々に暖めてくれた。訪れた人々は手を合わせたり写真を撮ったりして、今年1年の幸せを願っていた。その願いや希望が叶うまちづくりを着実に進めていかなければならない。

宗島 理仁